



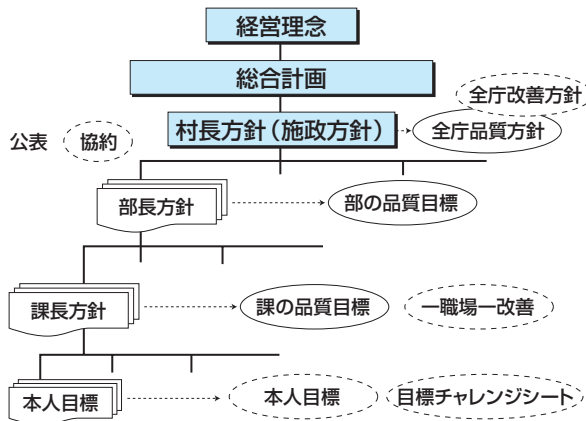
Q 総合計画の進捗状況は

A 10月に確認作業を実施

高橋 寿議員 (春緑クラブ)

Q1 第5次総合計画の上半期の進捗状況は。また下半期の重点事業は。

A1 毎年、4月と10月に事業の進捗確認と村長の方針を各部長に説明します。それを受け、各施策について部長と村長とで協約を結び、方針管理や事務事業を進めます。



また、中間の進捗確認は10月に行うことから現在では詳細に関して確認ができていません。

初年度対策として、重点施策の一つである地域経済の活性化を進めるため、商工観光課内に経済振興担当課長を配置し、振興の立案と推進に努めています。

Q2 実行計画におけるアクション・プログラムと、PDCAサイクルについて伺います。

A2 実行計画は毎年3年先を見込みながら策定を行い、基本計画、村長方針、部長との関連性を確認しながら、手法の妥当性を考え策定します。また事務事業評価は、行政自ら行うべきと考えますが、地の市町村で導入しているような制度は現在考えていません。

しかし、めざそう値の進捗や変化に対し、政策、施策上の評価制度については、構築に向かって検討を行っています。

Q3 相応の行政サービスには、応分の投資的経費の観点から「幸せ地域社会」の構築のため財政力の向上に努めなければなりません。

これを踏まえ「産業が元気なまち」をつくります。に関する戦略的事業を伺います。

A3 地域経済の活性化には、将来を見据えた長期的、持続的対策が必要です。将来を見据え研究開発型のベンチャー企業の立地を促進すべく、ベンチャー企業支援事業を4月から実施しています。

今年度から村と商工会が共同設置した商工実務者連絡会などを活用し、緊密な連携により産業振興を展開して参ります。